港区防災シンポジウム＆防災クルーズ

９割の都民が知らない、今、そこにある危機

大停電で何が起きるか！津波への備えは？

日　時

平成２９年３月１１日（日）　受付開始１０時３０分
第一部　防災シンポジウム　１０時４５分～１２時
第二部　防災クルーズ　１便１３時～　２便１４時～　３便１５時～
クルーズ受付はシンポジウム受付時の申し込み順となります。各便定員２８名

場　所

港区芝浦１－１６－１
みなとパーク芝浦１Ｆリーブラホール

パネリスト

榎本茂

カルガモプロジェクト・港区水辺フェスタなど区の事業を立ち上げた港区水辺環境の第一人者、震災時の長期停電対策として発電し続けられるマンション防災に取り組んでいる

刑部真弘

東京海洋大学教授、専門はエネルギー工学、スマートグリッドによる新しいエネルギー構想を発表する。原子力の専門家でもある。ブルーカーボン研究連携機構理事長

当団体は、震災時の長期停電に備え、マンションの火災報知器、消火設備、非常用エレベーター、館内放送設備などを作動させるためにマンションに備えられている非常用発電機の燃料として、東京港の船舶燃料（A 重油、軽油）５００KL を確保し、参加マンションが毎日８時間、停電予想日の数７日間発電し続けられる体制作りに取り組んでいます。

防災クルーズ

場所：みなとパーク芝浦１Ｆリーブラホール

主催　みなと防災区民会議
後援　一般社団法人港区高層集合住宅の防災を考える会

ホームページ　http://tower3710.net
お問い合わせ先　info@tower3710.net